

## エネルギー“自給自足” 八戸・タナカホーム 省エネ住宅発売



新商品「T-Smart 2020」の  
完成予想図

住宅の新築やリフォームなどを手掛けるタナカホーム(八戸市、金田一光徳社長)は、今月から新商品「T-Smart 2020」の取り扱いを始めた。太陽光発電と蓄電、高い断熱性能による室温維持によってエネルギーの「自給自足」を目指した省エネ住宅。環境意識の高まりを踏まえたニーズを見込み、青森県内での普及に力を入れる方針。

同社によると、日中にソーラーシステムで自家発電し、大容量の蓄電システムを活用して夜間の電力も賄う仕組み。日常生活に必要な電気使用量以上を生み出すことができるという。蓄えた電気は災害時や電気自動車への充電などにも利用可能だ。同社は来年3月までに同市とおいらせ町に展示場3棟を建設し、PR活動を展開する予定。

9日、デリー東北新聞社を訪れた金田一社長は「光熱費がお得になるという点をアピールし、市民に手の届く価格帯で提供していきたい」とPRした。問い合わせは、タナカホームフリーダイヤル0120(080)92511へ。(田中周菜)